

東日本大震災特集号

No 3 0 (最終)

がんばろう福島

自治労福島

自治労福島県本部機関紙

自治労福島県本部

024-523-4324

fax024-526-2109

自治労共済福島県支部

024-521-0336

fax024-521-1728

たくさんのご支援 自治労復興支援活動終わる ありがとうございました！

BC閉所式を開催

4月10日より行われてきた自治労復興支援活動が7月10日で終了となりました。14都県本部と全消協から829名の仲間にご支援いただきました。4月9日、活動の拠点となってきたベースキャンプの閉所式が開催されました。支援を受けた単組の中から南相馬・相馬・浪江・大熊・楢葉の5単組の委員長が出席し、経過や現状を報告、感謝の気持ちを支援者へ伝えました。

地震・津波だけでなく原発事故による放射能問題を抱える福島では、復興の見通しが立たず、支援の継続



を望む声も聞かれますが、今後は、人員確保要求やメンタルヘルス・放射能等による健康被害への対応、賃金労働条件改善への取り組み等を進めながら、復興へ向かって歩んでいきます。

この間の全国からの支援に対し、改めて感謝申し上げます。

(第13グループのみなさんと、

最前列左から4番目:瀬戸福島市長、5番目:栗城委員長、6番目:岡本本部書記長)

自治労復興支援活動

自治体首長へ支援終了挨拶

～ 南相馬市・浪江町 ～

7月8日、長沢本部組織対策局長と栗城委員長が自治労復興支援活動終了のあいさつのため南相馬市と浪江町を訪問しました。

南相馬市では第4グループから、避難所支援・市役所福島出張所や二次避難場所の飯坂温泉での事務支援を、浪江町では第2グループから、避難所支援・事務支援・支援物資の搬送・遺失物整理作業を行ってきました。

馬場浪江町町長からは、「役場機能を移転したばかりの混乱期の中で、自治体職員の仲間である自治労の支援は非常にありがたかった。町民も職員も感謝している。」との話がありました。

作成していたのはこんな者です…。



(自治労福島県本部 安)

今回の第30号をもちまして「自治労福島 東日本大震災特集号」は最終号となります。お見苦しい点も多々あったかと思いますが最後までお読みいただき、本当にありがとうございました。



(桜井南相馬市長・右から4番目)



(馬場浪江町長・右から3番目)